

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600168
事業所名	グループホーム ジョイフル江南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	開設当初は区長から疎まれることもあったが、最近は関係は良くなっている。地域包括の力を借りて、事業所内の見学会を行っている。町内会の回覧板で見学会などの案内のお知らせをしている。毎年近くの小学校の5年生と交流会を持ち、一緒に作品を作ったり、給食をいただくなど関係を深めている。こども110番も受託している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回、地域代表、北部地域包括支援センター、市高齢者いきがい課、利用者代表、家族代表、管理責任者等が参加して開催している。報告事項は、事故報告、行事報告、検討事項、つぶやき報告、医療対策、外部評価の報告などが議題である。参加者からの意見は少ないが、家族とは面会など来所時に話し合う機会は多く、問題はその都度対応している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市の担当課には運営推進会議の報告、事故の発生の報告を、担当課からはファックスや電話で情報を送ってもらい、市との連携を深める努力をしている。市主催の”徘徊模擬訓練の案内”を地域包括職員から連絡をうけ、ハウスマネージャーも訓練に参加をし、”チラシ配り”を体験した。この訓練には2回参加しており地域包括との情報の共有にも努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	年2回家族向けの満足度調査を実施したり、入居者の’つぶやき’を拾い上げ、それらを事業所の運営に反映させられるように会議で話し合っている。玄関には’つぶやき’を集約し掲示もしている。家族向けのグループホーム便りを毎月発行し「〇様の家族様へ」の欄を作り、入居者毎の日常を連絡、報告している。家族からの苦情にも出来る限り対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。